

ほけんしつの一と



令和3年10月25日

No. 9

川越市立霞ヶ関東中学校

保健室

～「いのちの教育」第2弾! 「がん教育」を実施しました～

川越市では、「いのちの教育」として「がん教育」「救命教育」「性に関する指導」を推進しており、本校でも昨年度に引き続き、外部講師と連携した「いのちの教育」に取り組んでいます。

先日の「救命教育」に引き続き、10月19日(火)に第3学年と参加を希望された保護者を対象とし「がん教育」の講演会を実施しました。当日は、埼玉医科大学総合医療センター緩和医療科・呼吸器外科の儀賀理暁先生を講師にお招きし、「いのち」についてお話いただきました。

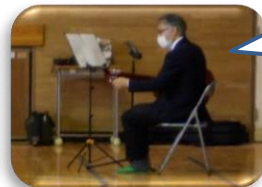


今とこれからを生きる君たちへ



- いのちは奇跡
- がんを防ぐチャンスは日常生活の中に
- がん ≠ 死
- いのちに限りはあるけれど・・・

答えは君たちの中にある



いろんな人が見た星と
ぼくらが今見る星と
ほとんど変わらない
それがうれしい
—嘲笑—

生徒の感想

(一部抜粋)

☆儀賀先生の話しがとてもおもしろく、少し重い話だと捉えがちな「がん教育」についてよく学ぶことができました。

☆健康を失ったことで、失う前に気づけなかった幸せに気づかされることもあるのかと思いました。

☆儀賀先生のお話を聞いて、がんは多くの人々がかかってしまうけれど、がんにかかっても希望があることがわかりました。命はいつ終わるかかわからないけれど、自分らしくがんばっていきたいと思いました。

☆がん教育を受ける前は、がんは他人ごとだと思っていたけれど、がんについて知るにつれ、がん細胞は誰でももっていて、2人に1人はがんになることを知り、他人ごとではないことを知りました。

☆テレビで「いのちは奇跡」「私たちは奇跡で生まれた」と何回も聞いてきましたが、「がん教育」の話を聞いて、本当に奇跡で生まれたということを感じました。

保護者の感想

(一部抜粋)

☆儀賀先生が川越を、埼玉を代表される緩和ケアの第一人者であり、数え切れない患者と家族と医療者を導いていらっしゃいます。今日中学生という若い世代にお話して下さって、先生の世界が広がっていきますように。

☆がんのことが中学生から知ることができ、よかったです。私も早く知りたかったです。

第1学年「がん教育」のご案内



日時 令和3年11月18日(木) 13:30～ ※13:10より3階体育館にて受付を行います。

会場 本校体育館

講師 NPO法人 くまがやピンクリボンの会

※10月22日に、通知文書と参加確認について保護者向けメールにてお知らせをしております。

なお、今後の感染症感染拡大状況によっては、開催等を変更する可能性がありますことを申し添えます。